

長門の話題

Topics



海洋性レクリエーション教室の開催

長門の美しい海を満喫

7月26日(日)、日置B&G海洋センターで海洋性レクリエーション教室が開催されました。

これは、水辺の自然体験を通じ、海洋性レクリエーションの普及と水辺での事故を防止することを目的に毎年開催されているもので、この日、カヤックの乗艇体験と水辺の

安全教室が実施されました。

教室では、オール漕ぎ方を説明した後にカヤックに乗艇したり、ライフジャケットや身近なものを利用した浮遊体験を行うなど、児童らは夏の海を存分に楽しんでいました。教室は複数日行われ、市内から多くの児童が参加したとのことです。

仙崎の街にふたたび

金子みすゞモザイク画の移設

7月26日(日)、金子みすゞモザイク壁画を道の駅センザキツチンの第2駐車場にある山口県漁協倉庫壁面に移設する作業が行われました。

昨年度末に一度撤去された壁画ですが、この日、2時間半ほどの移設作業を終えて、ふたたび仙崎の街に帰ってきました。



▲仙崎青年会など約20人が作業を実施

青海島ならではのオンリーワンを展示

青海島共和国に博物館を開館

8月1日(土)、旧青海島小学校に青海島共和国国立博物館が開館しました。

館内には「マグマの博物館」「天然の海中水族館」「みすゞの詩 青海島八選」「くじら文化」など青海島の自然・文化を紹介するコーナーが設置されました。博物館は不定休で、開館時間は午前9時から午後5時までとなっています。



▲共和国の伊藤特別学芸員による解説



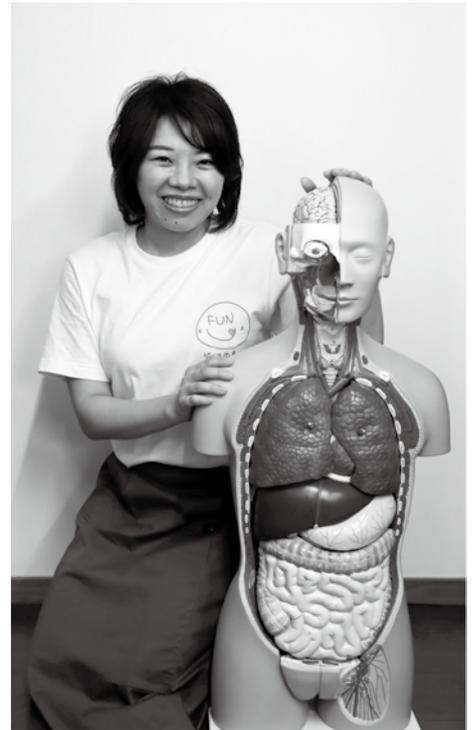
▲約2時間の間、夏の海を楽しむ



▲初回には約20人の児童らが参加

食を通じた学びの場の提供

ながい
長井
あやこ
彩子さん
(グッドライフクッキング)



しゅん
旬
な人

歯科医師や企業の代表と一緒に新しいかたちで飲食店を応援する「なが」とオンラインサロン」を始めた管理栄養士の長井さん。インターネットを使ったオンライン勉強会を主催し、参加者は市内の飲食店でテイクアウト商品を買って、応援につなげる仕組みです。

8月から始まったこの取組は全25回開催し、食事や栄養だけでなく、歯科矯正やキャッシュレス決済、ヨガ、お花などについて学ぶべます。長井さんは、「新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休みとなり、オンライン教育があればどんなに助かるだろうと思ったことが、活動のきっかけです。あえて食事以外のテーマで勉強会をしていくなかで、テイクアウトを活用して健康的な食事についてさりげなく伝えることで、健康や食事に少しでも興味を持つきっかけにしてみたい。」と話しました。

いても学べます。

長井さんは、「新型コロナウ

イルス感染症の影響で学校が休

みとなり、オンライン教育があ

ればどんなに助かるだろうと

思ったことが、活動のきつかけ

です。あえて食事以外のテーマ

で勉強会をしていくなかで、テ

イクアウトを活用して健康的な

食事についてさりげなく伝える

ことで、健康や食事に少しでも

興味を持つきっかけにしてみ



▲オンラインで学びとともに交流も楽しむ

天然の木を使ったオブジェ作りに挑戦
木のおもちやづくり教室

8月8日(土)・9日(日)の2日間、香月泰男美術館でおもちやづくり教室が開催されました。

三隅出身の画家・香月泰男は、絵画だけでなく、廃材を使ってさまざまなオブジェを作ったことでも知られています。この教室は、地元の林業関係者などによる「遊林クラブ」が講師となり、来館した子どもたちを対象に木を使っ

たおもちやづくりを行うもので、毎年開催されています。

参加した子どもたちは、講師や保護者のサポートを受けながら、土台となる木や枝を選んだ後、大きさや形の異なる木片・木の実などをホットボンドで接着し、オリジナルのおもちやを製作。約1時間をかけて、たくさんの方のキャラクターを配置した作品を完成させていました。



▲嬉しそうに作品を持ち帰る



▲密にならないように注意しての開催